

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【公表番号】特表2003-523186(P2003-523186A)

【公表日】平成15年8月5日(2003.8.5)

【出願番号】特願2001-553948(P2001-553948)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 P 15/18

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 9/36

C 1 2 Q 1/02

// A 6 1 K 38/46

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 39/395

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 15/18

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/36

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

【手続補正書】

【提出日】平成14年9月18日(2002.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

免疫応答を誘導するための組成物であって、

配列番号：8、配列番号：8の断片、1～8個の保存的アミノ酸置換により配列番号：8

とは異なる配列、及び单一のアミノ酸の除去、挿入又は置換を示す单一変異により配列番号：8とは異なる配列から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチド；ならびに

医薬として許容されるキャリヤー；
を含んで成る組成物。

【請求項2】

アジュバントを更に含んで成る、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記ポリペプチドが配列番号：8の配列又はその断片を含んで成る、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

免疫応答を誘導するための組成物であって、

配列番号：9、配列番号：9断片、1～8個の保存的アミノ酸置換により配列番号：9とは異なる配列、及び单一のアミノ酸の除去、挿入又は置換を示す单一変異により配列番号：9とは異なる配列から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチド；ならびに

医薬として許容されるキャリヤー；
を含んで成る組成物。

【請求項5】

アジュバントを更に含んで成る、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

前記ポリペプチドが配列番号：9の配列又はその断片を含んで成る、請求項4又は5に記載の組成物。

【請求項7】

配列番号：8又は配列番号：9に示すアミノ酸配列を有するポリペプチド。

【請求項8】

潜在的ヒト療法剤のスクリーニング方法であって、C19又はC23タンパク質と候補化合物とを接触せしめ、そして前記候補化合物が前記C19又はC23タンパク質と選択的に結合するか否かを決定する、ことを含んで成る方法。

【請求項9】

前記C19又はC23タンパク質が細胞の表面で発現される、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

配列番号：2のタンパク質に特異的に結合する抗体。

【請求項11】

配列番号：4のタンパク質に特異的に結合する抗体。

【請求項12】

配列番号：8、配列番号：9、配列番号：8の断片、及び配列番号：9の断片から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するタンパク質を含んで成る避妊性製剤。

【請求項13】

個体の受精能を調節するための組成物であって、配列番号：2、配列番号：4、配列番号：2の断片、及び配列番号：4の断片から成る群から選択せられるアミノ酸配列を有するタンパク質を含んで成る組成物。

【請求項14】

免疫応答を誘導するために個体に注射される、請求項13に記載の組成物。

【請求項15】

ヒト以外の個体の受精能を調節する方法であって、配列番号：2、配列番号：4、配列番号：2の断片、及び配列番号：4の断片から成る群から選択せられるアミノ酸配列を有するタンパク質を前記個体に投与することを含んで成る方法。

【請求項16】

免疫応答を誘導するために前記タンパク質を個体に注射する、請求項15に記載の方法。